

# 【保護者・関係機関】令和7年度 学校評価アンケートについて

令和8年3月 学校評価係

## 1 実施期間

令和7年11月17日（月）～11月28日（金） 《期間延長：令和7年12月19日（金）》

## 2 アンケート対象者

学部	小学部	中学部	高等部	関係機関	合計
人数	73	61	95	2	231

## 3 実施方法

- ・ 11月14日に「学校評価アンケート（お願い）」という依頼文書を全児童生徒へ配布
- ・ web方式（Google フォーム）を基本としたが，担任へ申し出があった保護者にのみ紙媒体の配布を行った。
- ・ 11月17日午前8時にあんしん安全メールにて全保護者宛にアンケートURLを配信。
- ・ Google フォームの設定の影響でアンケートに回答できない保護者がいたため，設定を変更。再度あんしん安全メールにて回答依頼を配信（12月19日まで期間延長）。
- ・ 12月19日までの期間中，あんしん安全メールにて計3回回答依頼を配信した。

## 4 回答率

	小学部	中学部	高等部	関係機関	全体
回答者数	53	40	60	1	154
回収率	72.6%	65.6%	63.2%	50%	66.7%
(参) R6年度	75.8%	77.2%	69.0%	100%	74.2%

## 5 評価基準

評価4：十分達成できている（そう思う）	評価3：概ね達成できている（ややそう思う）
評価2：やや不十分である（あまり思わない）	評価1：不十分である（思わない）
評価0：分からない	

## 6 分析方法

評価値の平均値※を出し，記述意見も参考にした。

※ 平均値とは，下記の式で算出した数値を表す。

$$\frac{(\text{評価}4 \times \text{評価者数} + \text{評価}3 \times \text{評価者数} + \text{評価}2 \times \text{評価者数} + \text{評価}1 \times \text{評価者数})}{\text{総評価者数}}$$

## 7 結果（平均値）

	番号	質問	小学部	中学部	高等部	関係機関	全体	R6年度	R6年度からの増加
安心・安全	1	学校は、子供たち一人一人の人権を大切にして元気な心を育んでいますか。	3.64	3.58	3.57	3.00	3.61	3.70	-0.08
	2	学校は、子供たちの健康や感染症対策等について、連絡帳等を活用して家庭と連携を図っていますか。	3.55	3.45	3.45	3.00	3.53	3.69	-0.16
	3	学校は、子供たちの健康や安全に配慮した教育や環境整備を行っていますか。	3.47	3.55	3.43	3.00	3.52	3.62	-0.10
指導・支援	4	学校は、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」を作成し、子供たちの実態やニーズに応じた学習活動に取り組んでいますか。	3.62	3.55	3.47	3.00	3.56	3.66	-0.10
	5	学校は、子供たちが生き生きと学ぶために授業の工夫（ICTの活用など）を行っていますか。	3.28	3.43	3.22	3.00	3.50	3.57	-0.07
	6	学校は、子供たちの学びの姿を、連絡帳、通信、通知表（のびゆくすがた）等を用いて伝えていますか。	3.77	3.75	3.55	3.00	3.70	3.77	-0.07
	7	学校は、家庭等と連携しながら、子供たちの将来を見据え、個々に必要な力をつけるための指導の充実を図っていますか。	3.42	3.35	3.32	3.00	3.49	3.60	-0.11
地域連携	8	学校は、子供たちの社会経験や人と関わる経験を広げる教育活動を行っていますか。	3.13	3.30	3.23	4.00	3.42	3.51	-0.09
	9	学校は、本校の教育や、特別支援教育の理解啓発のために、情報発信を行っていますか。	3.11	3.23	3.27	3.00	3.35	3.48	-0.13
	10	学校は、作品の出品や検定受検、スポーツ大会出場等の機会を設け、子供たちの「やりがいや生きがい」を育てていますか。	3.06	3.25	3.28	3.00	3.42	3.52	-0.11
	11	学校は、地域から信頼される学校づくりに取り組んでいますか。	3.19	3.40	3.13	3.00	3.42	3.52	-0.10
研修・サービス	12	学校は、特別支援教育に関する専門性を有する職員集団であると思いますか。	3.38	3.40	3.38	3.00	3.47	3.54	-0.07
	13	学校は、職員同士が連携・協力し合い、活力があると思いますか。	3.42	3.35	3.32	3.00	3.47	3.53	-0.06

## 8 各項目について

- ・ 安心・安全においては、実態に合わせた指導がされていたり、家庭との連携ができていたりすることへの肯定的な意見が多く挙げられていた。全項目で平均値が3.5以上あり、他の項目に比べ、全体的に数値が高い結果となった。
- ・ 指導・支援においては、実態に応じた学習活動や連絡帳の活用などへの肯定的な意見が多く挙げられていた。一方、将来に向けての不安等の意見も挙げられていた。小学部の段階から保護者も徐々にキャリア教育を意識していけるような発信ができるよう、検討していきたい。
- ・ 地域連携においては、他の項目に比べ、数値が低い結果となった。ホームページなどで発信はしているが、発信力が低かったと考えられる。学校の情報や検定のお知らせ等、発信方法の工夫と発信していこうという意識を高めていけるよう、検討していきたい。
- ・ 研修・サービスにおいては、教師の専門性や学校の雰囲気への肯定的な意見が多く挙げられた。職員がワークライフバランスを意識しながら業務改善に取り組んだり、専門性を高めたりしていくことで、働きやすい職場作りやよりよい指導・支援につながっていくと考える。

## 9 全体を通して

- ・ 回収率が74.2%→66.7%と昨年度より低下した。Google フォームの設定の影響で、Google にログインすることが困難な保護者が回答できない状態になっていたことが回収率低下の要因の一つと考える。来年度はGoogle フォームの設定を見直し、かつ期間を1週間延長して定期的な呼び掛けをしたり、必要に応じて個別に促しをしたりすることで回収率向上を目指したい。
- ・ 全質問（13項目）において、改善が必要な項目はなかったが、全体的に昨年度より低い数値となった。この結果や各質問での記述から検討や回答が必要な意見が出されているため、全職員に結果を周知し、よりよい学習活動、学校づくりに生かせるよう検討していきたい。
- ・ 質問6「学校は、子どもたちの学びの姿を、連絡帳、通信、通知表（のびゆくすがた）等を用いて伝えていると思いますか。」の数値が全体で最も高く、自由記述でも連絡帳等での児童生徒の様子がよく伝わっているという意見を多数いただいた。他質問でも肯定的な意見や感謝の言葉を多数いただいたことは、職員にとっても励みになると考える。